

カリキュラム・マップに基づいた教育課程の検証結果 (一般教育等)

○令和7年度の前期、後期、通年科目についての教育課程の適切性の検証結果は次のとおりである。
(検証事項：内容の適切性、隣接科目との内容の重複、開講時期、GIO との整合性、カリキュラムの問題点等)

【成果・できていること】

- ・履修者数の確保と、将来的な非常勤講師への委嘱のしやすさを確保するため、学科・専攻により開講時期が異なる科目のうち、「生活と法」「言語と表現」について、それぞれ全学科・専攻を対象に同時開講できるように調整した。
- ・政府の戦略・政策を踏まえて、数理・データサイエンス・AI の教育内容をどのように本学における教育課程に位置づけていくかを検討した結果、既存科目の枠内で学修できるよう授業内容を調整した。

【課題・できていないこと】

- ・7つの群の科目数に偏りがあり、特に「地域と生活」群は3科目と少ないことから、調整の余地がある。

【その他・今後の検討事項等】

- ・「体育実技」について、現在、社会福祉専攻とこども学科を一つのクラスとして開講しているが、受講者数が多い。一方、介護福祉専攻のクラスでは受講者数が少ない。受講者数のバランス改善を図るため、社会福祉専攻と介護福祉専攻を一つのクラスとして開講することを検討する。